



学校便り
たしる
自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和7年12月23日発行

合い言葉 **やればできる**

レガシーEXPOスクールキャラバン

校長 土岐 邦寿

令和7年も残すところあとわずかとなってきました。田代中学校では今月もおもしろい取組をしましたので、紹介したいと思います。

今年の大きなイベントといったら関西万博でした。大屋根リングにミyakミyakと話題豊富な半年間でした。終了して2か月たちます。参加していた企業が、万博の報告会を兼ねた、出前授業を行うことになり、本校が開催第1号となりました。内閣官房国際博覧会推進本部事務局から直接オファーがあり実現しました。これは、偶然ではなく、田代中の生徒が、TJKで頑張ったり、防災教育に取り組んだりしたことが高く評価されたからです。今回、青木あすなる建設が担当、水陸両用ブルドーザ(スイブル)1/12スケールの模型持参で大阪本店と東京土木技術本部からの来校です。

関西万博では「未来の都市」パビリオンに出展。水中工事をロボットが行う未来を紹介していました。水中工事といったら土木だけのイメージがありましたが、それだけでなく、海を耕して、わかめや昆布などの藻場畑を構築することにより、海洋環境の改善、CO2削減にも使われていくとのこと。すでに藻場畑は実証実験に取り組んでいるそうです。また、ブルドーザなどの操作についても話がありました。現在は熟練工が操縦する必要があるけれど、これからは自動制御、ICT機能、遠隔操作により、現場に行かなくても、操作して工事を効率的にそして迅速に行えるようにしていきたいと話されていました。将来は、土木工事経験がない人でも、遠隔地より、リモート操作で重機を動かすことができるようになり、仕事に従事する幅を広げたいということでした。

実際の模型を簡易プールに入れての操作体験をしました。リモコンで、前後・左右・回転など操作しました。実物はこの模型の12倍です。深さ7mまで潜れるように煙突が着いており、水中に潜っているときにはこの煙突の傾き具合で、川底・海底の様子を把握する熟練の技が求められるとのことでした。



最後に、「自然災害から命や暮らしを守るために何ができるだろうか。」というテーマでグループディスカッションをしました。グループごと活発な意見が出ていました。この講演で、未来の田代について考える事ができたのではないのでしょうか。当日講演をしていただいた、青木あすなる建設蒲田さんからのメールが届いていますので紹介します。「生徒の皆様の表情がとても印象的でした。社会課題を自分事として捉え仲間とディスカッションする姿、後半には様々な視点から個別に質問を頂き、私たちも大変勉強になりました。課題解決の過程の大切さを再認識しました。万博はゴールではなく未来へのスタートの想いです。未来を担う世代が未

来を考え行動するきっかけとなりますよう、田代中学校を皮切りに全国でレガシーEXPOスクールキャラバンを展開してまいります。」(一部抜粋)

今年一年も大変お世話になりました。生徒の成長する姿に日々感動をもらっています。今後とも田代みんなで子どもたちを見守っていきましょう。良い年をお迎えください。

「鹿児島読売テレビで当日の様子が放送されました。」 →



